

大規模体育館料金の考え方について

- ・ 大規模体育館の現状
- ・ 将来の大規模体育館の在り方
- ・ 料金設定の考え方

スポーツ部 スポーツ課

第82回国民スポーツ大会・第27回全国障害者スポーツ大会開催準備事業

- ・ 令和10年に開催される第82回国民スポーツ大会及び第27回全国障害者スポーツ大会に向け、施設整備等を実施。
- ・ 既存の長野運動公園総合体育館は、アリーナ等に空調設備がないため、大規模な大会がホワイトリングに集中している。加えて、バリアフリー化の不足や、指定避難所としての機能が十分に確保されていないといった課題を抱えている。これらの課題に対応するためには、施設の老朽化が著しいことから、改修ではなく新たに施設を建設し、その後、既存の総合体育館は解体。

長野運動公園総合体育館 建設年:昭和53年

【主体育館】

観客席 1,200席
空調 なし
バスケット2面、バレー4面

【補助体育館】

観客席 なし
空調 なし
バスケット1面、バレー2面

【その他施設】

・柔道場
・剣道場
・卓球場

長野運動公園総合体育館 完成予定:令和8年12月

【主体育館】

観客席 **2,030席(固定1,202席 可動828席)**
空調 **あり**
バスケット2面、バレー4面

【補助体育館】

観客席 なし
空調 **あり**
バスケット1面、バレー2面

【その他施設】

・柔道場
・剣道場
・卓球場
・**体操練習場**

市民の誰もが快適に利用でき、大規模大会・試合に対応した、地域経済の活性化に資する体育館として整備

オリンピック施設大規模改修事業

- ・ 建設からおおよそ30年経過し、補修や機器の交換が必要であるオリンピック施設の計画的な更新・改修を行い、将来にわたって安全かつ安定した利用が可能となるよう長寿命化改修を実施。
- ・ 長寿命化改修工事の主な内容
防水改修(屋根等)、建具改修、床面改修、設備改修(LED化、トイレ洋式化、空調、受変電、音響等) など

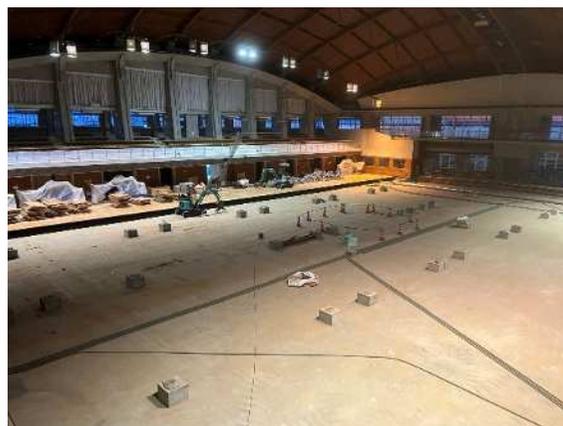
南長野運動公園体育館

工期 R7.6~R8.6(休館:R7.12~R8.4)
観客席 固定450席
空調 あり(令和3年導入)
コート バスケット2面、バレー3面

施工状況



屋根改修



アリーナ改修(既存床撤去中)

ホワイトリング<サブアリーナ>

工期 R8.6~R10.3(サブ休館:R8.12~R9.3)
【メインアリーナ:R9年度施工予定】
観客席 なし
空調 なし
コート バスケット1面、バレー1面
※1/2面は体操器具を常設



長寿命化改修に併せ、常設体操器具を撤去

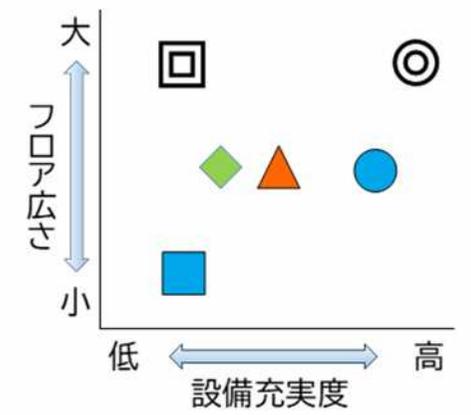
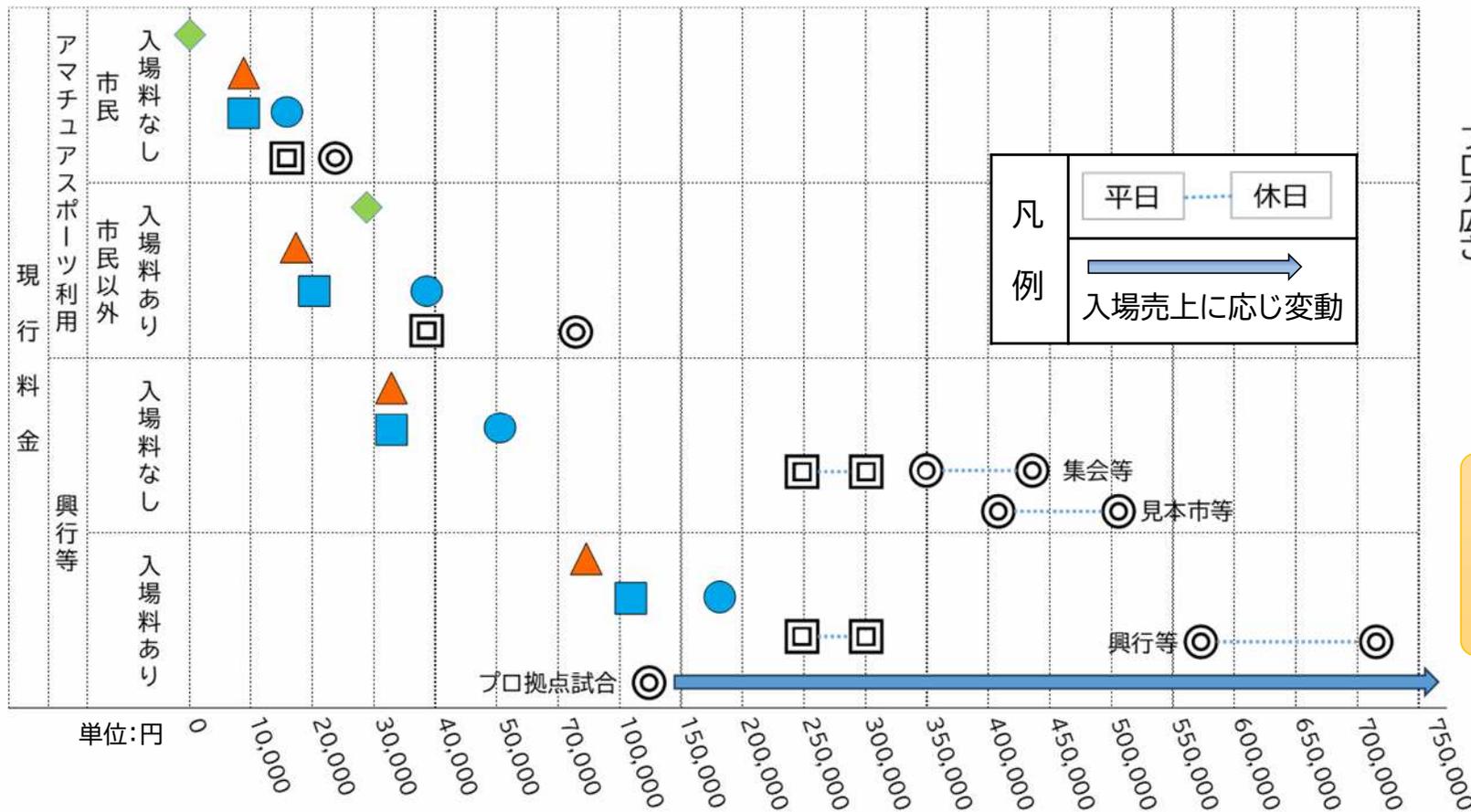
ホワイトリング<サブアリーナ>

観客席 なし
空調 **あり(新規導入)**
コート **バスケット3面、バレー3面**
※**体操器具の撤去により、常時全面利用が可能**

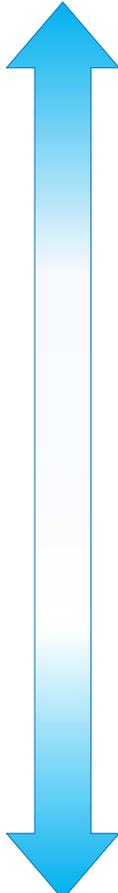
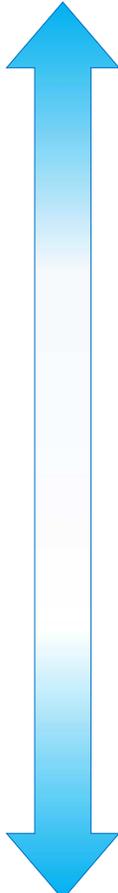
現在の大規模体育館料金の設定状況

※区分 8:30~17:00
アリーナ専用のみ

| 改修後概要 | 社会体育館(大規模) | 南長野運動公園 | 長野運動公園 | | ホワイトリング | |
|---------------------------------|---------------------------|--------------------------|-----------------------------|--------------------------|-----------------------------|-----------|
| | ◆ 信州新町体育館 豊野体育館 | ▲ 体育館 | ■ 補助体育館 | ● 主体育館 | □ サブアリーナ | ◎ メインアリーナ |
| 客席 200(新町のみ) 空調 あり バスケ 2面 | 客席 450 空調 あり バスケ 2面 | 客席 なし 空調 あり バスケ 1面 | 客席 2,030 空調 あり バスケ 2面 | 客席 なし 空調 あり バスケ 3面 | 客席 5,008 空調 あり バスケ 3面 | |



施設規模や設備充実度と料金設定との間に不均衡が生じている。

| 総合計画施策 | カテゴリー | 役割 | 施設 | 主な用途※ |
|----------------------|---|--|------------------|---|
| スポーツを通じた交流拡大の推進 | <ul style="list-style-type: none"> ●交流人口拡大 ●プロチームとの連携 | 地域・経済 活性化  | ビッグハット | ◆興行的な大規模スポーツイベントの開催 |
| | | | ホワイトリング | ◆信州ブレイブウォリアーズのホームゲーム開催 ◆国際大会、全国大会、北信越大会の開催 |
| | | | 長野運動公園 総合体育館 | ◆ポアールス長野のホームゲーム開催 ◆全国大会、北信越大会、県大会、北信大会の開催 ◆高体連、中体連主催大会の開催 |
| 誰もがスポーツを楽しめる環境づくりの推進 | <ul style="list-style-type: none"> ●生涯スポーツ推進 ●競技力向上 |  市民 スポーツ | 南長野運動公園 体育館 | ◆北信越大会、県大会、北信大会、長野市大会の開催 ◆高体連、中体連主催大会の開催 |
| | | | 豊野体育館 信州新町体育館 | ◆長野市大会等、他の大規模体育館を予約できなかった大会の受け皿として活用 |

※主な用途は、週末(休日)を中心とし、平日は市民のスポーツ活動に利用

長野運動公園総合体育館

- ・長野運動公園総合体育館は、市民スポーツ利用と地域・経済活性化の両立を目指す施設として位置づけ整備
- ・多様なスポーツ活動や健康づくりなどに利活用でき、ユニバーサルデザインを取り入れることで、市民利用の利便性を向上
- ・各種大会等の施設基準を考慮し、また、地域密着型プロスポーツチームの試合やイベントの開催にも対応できるよう可動席を設置
- ・体操練習場の整備や空調設備導入等により、ホワイトリングに集中していたスポーツ大会の開催を分散

長寿命化改修等による機能強化

- ・ホワイトリング〈サブアリーナ〉へ空調設備導入
- ・常設体操器具撤去によるアリーナ全面利用が可能



ホワイトリングが本来持つ「地域・経済活性化」のためのポテンシャルを最大限発揮

施設規模・施設管理運営コスト

- ・施設規模や機能の充実度に応じ、施設管理運営コストが相違する中、現行の料金設定に不均衡が生じている。
- ・機能強化(設備導入等)に伴うランニングコストの増加(最低賃金の上昇、光熱費や物価等の高騰に伴うコストも増加)

- ・将来の大規模体育館のあり方を踏まえ、新施設整備や既存施設改修に伴う料金設定の検討が必要
- ・市内には大規模体育館として、一部の社会体育館や南長野運動公園体育館、長野運動公園総合体育館、ホワイトリングアリーナ等があり、市民の日常的な利用からプロスポーツの興行まで幅広い利用実態に対し、バランスの取れた料金設定の検討が必要